

プログラム及び抄録

大会長挨拶 (4:30)

院長先生より

第一部 (4:35~5:30)

1. 試用報告

“プロフィーメイトによる歯面清掃について”

○南 雄彦 (難波診療所)

パウダー吹き付け型歯面清掃機であるプロフィーメイトは、歯面の着色除去によく使われますが、術後のエナメル質表面性状など、気になる点もあります。今回、実際に臨床で使ってみての注意点、気づいた事について、術前、術直後、術後経過の写真を添えて説明します。

2. 症例報告

“フルマウスリコンストラクションに
ツインホビー咬合器を使用した一症例”

○祖父江 俊隆 (天王寺診療所)

歯科医師として、一度は全顎治療を施してみたいものである。今回は、根管治療、歯周治療、補綴、等を全て行なえた症例について報告する。

(患者の概要)

氏名 西○加○子 年齢 46歳 初診日 H.9.3.16

主訴 口臭が気になる。

現症 $\frac{7}{76} \frac{7}{4} \frac{7}{4} \frac{7}{67} : P$ $\frac{6}{76} \frac{6}{43} \frac{6}{4} \frac{6}{6} : Per$

$\frac{7}{7} : C$

3. 症例報告

“歯牙の位置異常を伴う咬合崩壊症例に対する
咬合治療中の一症例 ”

—— 初めての全顎的な補綴症例 ——

○杉分 裕史 (天王寺診療所)

前歯部の審美障害を主訴に来院された患者さんの咬合治療、歯周治療を行なった症例で、特に咬合平面、咬合高径、アンテリアガイダンスの改善、パーティカルストップの確保、歯周状態の改善に関して、治療途中ですが中間報告をします。

患者：48歳 女性
〔初診時〕 歯式

65	321	12345
6	432	23 67

MT (金属床)

1 1'	1'1	5
------	-----	---

(休 憩)

第二部 (5:40~6:00)

4. 症例報告

“Vital Bleaching —松風 ハイライトを用いた症例— ”
○藤田 淳 (MIO 診療所)

MIO は診療所の立地条件により若い世代の患者比率が高く、最近、歯牙漂白に興味を示す患者数が増加しています。現在は、コストの問題であきらめる患者がほとんどですが、近い将来、材料の進歩等で、現在より歯の漂白という選択肢が一般に普及するようになると思われます。今回は、松風ハイライトを使用した生活歯漂白を行なった3症例について報告させていただきます。

〈症例1〉

25歳女性 部位

3	—	—	3
3	—	—	3

最初に行なった漂白で、ラバーダムに苦勞しチェアタイムは1回1時間半でした。

〈症例2〉

36歳女性 部位

4	—	—	4
4	—	—	4

加齢による変色と思われる、歯によってシェードにばらつきがあり、これを漂白回数を歯によって変え、色をそろえた症例です。また、ラバーダムをやめ、レジンにより歯肉を保護するようにしました。

〈症例3〉

24歳女性 部位

3	—	—	3
3	—	—	3

光照射を行わずに漂白を行なってみました。

(休 憩)

第三部 (6:15~)

5. 症例報告

“中等度の歯周病と咬合崩壊を認める症例における
オクルーザルリコンストラクション”

○松井 徳彦 (難波診療所)

初診時、中等度以上の歯周病と、それに伴う上顎前歯部のフレアアウト、さらに、左側上下顎大臼歯部の挺出、傾斜等の歯牙移動も認めた症例で、全顎的な歯周環境の改善とオクルーザルリコンストラクションをゴールとした治療の、プロビジョナルレストレーションまでの経過を報告する。

(初診時)

患者：62歳 男性

歯式：	7654321	123 5 7	特記事項：心筋梗塞の既往あり
	7654321	123456 8	

6. ケースカンファレンス

“不正咬合を伴う前歯部補綴の治療方針について”

○宇都宮 孝之 (MIO 診療所)

審美障害を主訴に来院される患者の多くに不正咬合、不正歯列を認めることとします。今回の症例は、紹介の患者で、審美改善を主訴に来院されているのですが、歯列や、歯牙の位置の問題が多く治療方針について日々悩んでおります。治療方針について検討していただきたく思い、症例を提示いたします。

7. 年忘れ！？ エンド大会 (全診療所)

日常の臨床の中でも地味であるが重要な根管治療に焦点を当て、小室歯科の歯内療法レベルを再確認する。術前術後の X-p によって評価し競う。優勝者に豪華商品、三賞 (技能・敢闘・殊勲) あり。

8. 総括

C.C.委員長 三島 賢郎 (天王寺診療所)

次回カンファレンスの開催予定告知、等